



僕たちの学習が本に載ったよ!



第二小学校での総合的な学習の実践がポプラ社の『伝統文化で体験学習』に掲載されました。この本は実践校27校の実例と、日本伝統文化の情報が掲載され、6冊が1セットになった本です。

第二小学校は、その内の2冊に紹介されています。

1冊は、「和食に挑戦しよう」の本に、「水路で赤米・黒米づくり」と「めざせ黒豆博士組」、もう1冊は、「和の心を感じよう」の中で「筆づくりを体験」の三つの実践が紹介されています。

第二小学校の総合的な学習は、核家族が進んでいる現在の生活からは、なかなか学び取れないものを地域の自然や人と人とのふれあいを通して学び、「生きる力」を身につけていくことが目的だそうです。

第二小学校では、

ここ数年熊野町を素材に地域の方からいろんなことを吸収させていただいているそうです。

今年、昔、熊野町で養蚕を行っていた時期があった事を知り、「蚕の飼育」と「繭」について興味を持ち、蚕を飼ったり、地域のひとと「まぶし」を作ったりしたそうです。

また、蚕は桑の葉を食物として成長していきます。このことから、熊野町にも桑の木が植えられていたことに目をつけました。

子ども達は、「桑の木無いかなく」と探していたところ、

どこからともなく「何しよるんね?」と声がかかってくる。そこから情報網は地域へと広がります。すぐに子ども達の元に、「〇〇にあるらしいよ」「昔、うちでも蚕をこうとった(飼ってた)」「...など、嬉しい情報が次々ときたそうです。そんな地域の方々からの情報から、

繭の卵からサナギになって繭



をつくり、蛾になるまでの様子を観察していました。

立派にできあがった繭を使って、繭人形を作っている子や、繭から糸をとっている子など様々です。



中には成長した蛾から卵を家にもって帰って「飼う」と、張り切っている子もいました。

研究のまとめでは、それぞれが工夫を凝らした「研究レポート」ができ上がっていました。



さらに、この学習を続けていく中で、桑の木は今、熊野

町では余り見かけることがなく、桑の木を育てていく事も始めよう、校庭の隅に苗木を植樹し育てています。



第二小学校は、今年も、蚕のほかに、ドジョウの飼育や赤米・黒米づくりと黒大豆の栽培を行って、地域の方との交流と伝統を学んでいます。

「心を動かす」ということは、心に残る。せつかく学び取ったことを何らかの形で発表させてやりたい。今では、参観日のときに発表したり、公民館などを利用してもらっているが、もっと発表の場が欲しいですね」と第二小学校の西村校長先生。

これからも地域の方との結びつきを大切に、たくさんの方を学び、熊野町のよさを感じ取って欲しいと思います。

(企画課)



熊野中学校

『とらい・やる21』

熊野中学校三年生115人でつくる創作活動「熊野中学校とらい・やる21」が6月27日(金)4部構成の2部まで完成した記念に中間発表会を開催しました。

昨年から、総合的な学習の時間などに練習を重ねてきての発表です。

最終完成の文化祭に向けてさらに練習を重ねていきます。



(生涯学習課)

TEL 820-5621